



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エスティック
コード番号 6161 URL <http://www.estic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 弘
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 伊勢嶋 勇

TEL 06-6993-8855

四半期報告書提出予定日 平成26年10月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年3月21日～平成26年9月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,454	7.3	267	25.0	289	25.5	172	26.2
26年3月期第2四半期	1,355	5.8	214	△17.8	231	△3.9	137	1.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	127.18	—
26年3月期第2四半期	100.76	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,862	3,375	87.4
26年3月期	3,706	3,268	88.2

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 3,375百万円 26年3月期 3,268百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	50.00	50.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の業績予想(平成26年 3月21日～平成27年 3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	9.8	540	7.1	543	3.0	320	0.6	235.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	1,471,000 株	26年3月期	1,471,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	111,300 株	26年3月期	111,300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	1,359,700 株	26年3月期2Q	1,359,700 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成26年10月30日にアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税増税による一時的な消費の落ち込みからの回復が鈍く、円安により輸出企業には追い風となっている反面、輸入原材料費の増大による影響も出始めており、全体的には緩やかな景気回復基調を示しつつも先行き不透明感は払しょくできない状況にあります。

また、世界経済におきましても各地で起こる紛争やテロまた疫病のリスクにより経済指標も不安定な状況を示しており、日本経済同様先行き不透明感は否めません。

このような状況のなか、当社主力販売先である自動車産業界における設備投資の状況につきましては、国内市場では消費低迷による生産調整などの動きが出つつも、設備投資に対する動向には大きな変化はなく、総じて前年並みの状況で推移しております。

海外市場では中国における設備投資が堅調に推移している反面、タイにおいては景気の踊り場の状況に加え政情不安も影響し軟調に転じております。

中南米地域におきましては日系自動車メーカーおよび部品メーカーによる大規模な設備投資が一段落いたしました。

当社は当年6月に米国ケンタッキー州に現地販売拠点を設立いたしました。主に日系自動車メーカーへの拡販及びサービスメンテナンス体制を強化し、米国市場において既存代理店と共に更なる受注拡大を図って参ります。

その結果、当第2四半期累計期間は、売上高1,454百万円(前年同四半期比7.3%増)、営業利益267百万円(前年同四半期比25.0%増)、経常利益289百万円(前年同四半期比25.5%増)、四半期純利益172百万円(前年同四半期比26.2%増)となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、3,862百万円と前事業年度末比156百万円の増加となりました。

これは流動資産については、受取手形及び売掛金などの減少があったものの、仕掛品の増加の影響により2,999百万円と前事業年度末比127百万円の増加となり、固定資産については、862百万円と前事業年度末比29百万円の増加となったことによるものです。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、487百万円と前事業年度末比49百万円の増加となりました。

これは買掛金が45百万円増加したことなどによるものです。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、3,375百万円と前事業年度末比106百万円の増加となりました。

これは利益剰余金が104百万円増加したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,082百万円となり、前事業年度末に比べて13百万円の増加となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは117百万円の収入(前年同四半期は287百万円の収入)となりました。

これは主に、税引前四半期純利益289百万円、仕入債務の増加額45百万円などの増加要因があった一方、たな卸資産の増加額60百万円、法人税等の支払額120百万円などの減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは44百万円の支出(前年同四半期は25百万円の支出)となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入40百万円の増加要因があった一方、定期預金の預入による支出40百万円、関係会社出資金の払込による支出50百万円などの減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは68百万円の支出(前年同四半期は68百万円の支出)となりました。

これは、配当金の支払額68百万円の減少要因があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績につきましては、概ね年初計画に近い状況で推移しており、平成27年3月期の通期の業績予想につきましては、平成26年4月28日付の「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」において公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月20日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,120,237	1,133,552
受取手形及び売掛金	1,160,083	1,154,838
製品	74,826	88,575
原材料	381,824	395,781
仕掛品	72,577	105,777
その他	69,455	123,728
貸倒引当金	△6,525	△2,377
流動資産合計	2,872,480	2,999,875
固定資産		
有形固定資産		
土地	413,240	413,240
その他(純額)	97,233	93,892
有形固定資産合計	510,474	507,132
無形固定資産		
投資その他の資産	4,804	7,113
その他	319,280	349,372
貸倒引当金	△800	△800
投資その他の資産合計	318,480	348,572
固定資産合計	833,759	862,819
資産合計	3,706,239	3,862,695
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,658	144,727
未払法人税等	121,470	122,528
賞与引当金	27,519	32,686
役員賞与引当金	-	10,000
その他	79,282	63,967
流動負債合計	327,929	373,908
固定負債		
退職給付引当金	109,675	113,515
固定負債合計	109,675	113,515
負債合計	437,604	487,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	2,288,356	2,393,292
自己株式	△217,684	△217,684
株主資本合計	3,267,421	3,372,357
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,212	2,913
評価・換算差額等合計	1,212	2,913
純資産合計	3,268,634	3,375,271
負債純資産合計	3,706,239	3,862,695

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)
売上高	1,355,620	1,454,087
売上原価	877,347	895,906
売上総利益	478,273	558,181
販売費及び一般管理費	264,094	290,435
営業利益	214,178	267,746
営業外収益		
受取利息	392	432
受取配当金	762	903
為替差益	7,191	10,649
デリバティブ評価益	7,870	2,850
保険解約返戻金	-	6,361
その他	743	938
営業外収益合計	16,960	22,136
営業外費用		
雑損失	101	8
営業外費用合計	101	8
経常利益	231,037	289,873
税引前四半期純利益	231,037	289,873
法人税、住民税及び事業税	99,477	121,159
法人税等調整額	△5,441	△4,207
法人税等合計	94,035	116,952
四半期純利益	137,001	172,921

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	231,037	289,873
減価償却費	11,617	8,873
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16,497	△4,148
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,747	5,167
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	10,000	10,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,876	3,840
受取利息及び受取配当金	△1,155	△1,336
為替差損益(△は益)	△4,672	△9,409
デリバティブ評価損益(△は益)	△7,870	△2,850
売上債権の増減額(△は増加)	46,862	5,245
たな卸資産の増減額(△は増加)	79,119	△60,905
仕入債務の増減額(△は減少)	65,103	45,068
その他	△20,810	△53,262
小計	402,358	236,155
利息及び配当金の受取額	1,445	1,604
法人税等の支払額	△116,127	△120,235
営業活動によるキャッシュ・フロー	287,676	117,525
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40,000	△40,000
定期預金の払戻による収入	40,000	40,000
有形固定資産の取得による支出	△23,200	△4,455
無形固定資産の取得による支出	△212	△3,393
投資有価証券の取得による支出	△2,358	△2,008
関係会社出資金の払込による支出	-	△50,825
その他	-	16,440
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,771	△44,243
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△68,003	△68,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68,003	△68,056
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,912	8,089
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	198,813	13,314
現金及び現金同等物の期首残高	905,618	1,069,237
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,104,432	1,082,552

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。